

## 基礎的財政収支ってなに？

経済調査部 藤下 直人

### 日本は世界最大の債務国

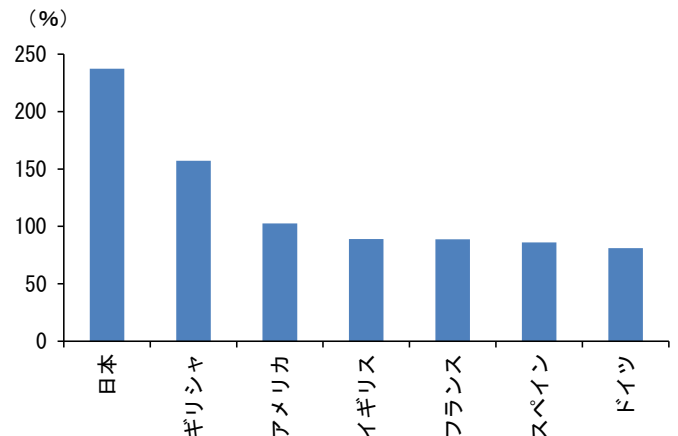
消費税率10%への引き上げが2017年4月に延期されました。これを受けて、今後の基礎的財政収支いわゆるプライマリーバランス（以下、PB）には注目が集まりました。それは、日本が世界最大の債務国であり、以前より「2015年度までのPBの赤字半減（2010年度対比）、2020年度までの黒字化」を国際公約として掲げ、その旗は現在も降ろしていないからです。そもそもPBは、政府の財政において借金に関わるものを除いた純粋な収入から支出を差し引いた収支であり、借金に頼らない健全性をはかる指標です。日本は借金が嵩み、返済がままならず、借金を返すためにまた借金をするという状況が続いています。

### やはり景気回復と社会保障改革

幸い現在の日本は、国の信用が高く、借金の多くが国内で賄われていることから、すぐ財政破綻にはなるわけではありません。ただ、このまま放置して良いはずはなく、国際公約どおり、しっかり借金を返済できるようにしなければなりません。

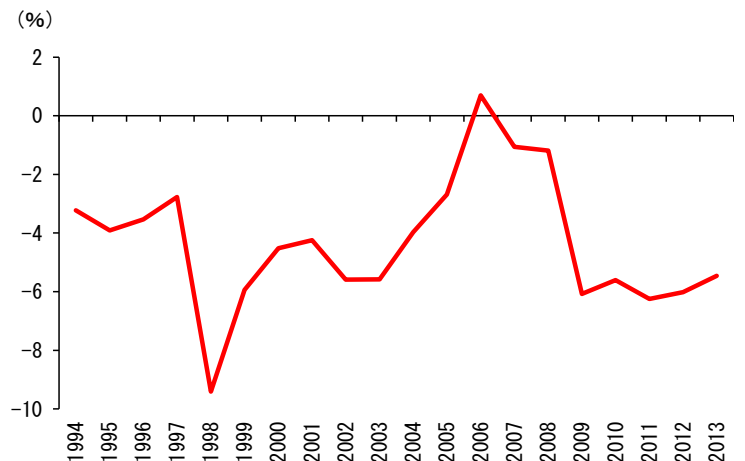
収入面では、消費税の増税もさることながら、景気回復と好循環による安定的な税収確保も重要です。そして支出面では、なんと言っても社会保障です。高齢化による社会保障費の自然増だけでも、年間1兆円規模に上ります。社会保障は暮らしを支えるうえで重要な役割を担っており、給付費をただ削減すれば良いという話ではありません。しかし、少子高齢化の中で、社会保障費は益々増えていくと見込まれる中、制度の持続性を保つためには何らかの改革が必要なことも事実です。2020年PB黒字化の達成とともにオリンピックを迎えたいものです。

資料1 先進諸国の一般政府総債務残高（GDP比）



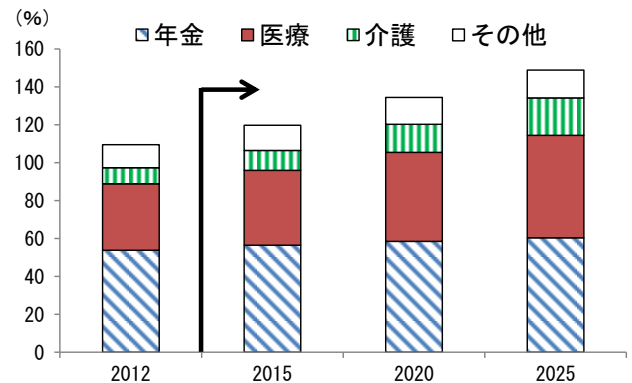
(出所) IMF 「World Economic Outlook」

資料2 国と地方の基礎的財政収支（GDP比）



(出所) 内閣府「国民経済計算」

資料3 社会保障給付費の将来推計



(出所) 厚生労働省「社会保障に係る費用の将来推計」（2012年3月）